
特定非営利活動法人 わおん 令和5年(2023年)度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

こどもたちがもっと元気に輝く地域に！

NPO法人 **わおん♪**



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@npowaon.com

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索 

2023年度事業の成果・総括

- ・げんすけの森柏茂交流会館やハイジの森を会場に、合計延べ1,111名に様々な体験活動を提供することができた。
- ・げんすけの森柏茂交流会館は、元気づくり支援金の補助を受け、建物の修繕や手直しなどをおこない、安全性を高めることができた。

♪事業の実施に関する事項

一 特定非営利活動に係る事業 一

1：環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業／2010年度より継続事業)

日程：

4月8日	第1回 入隊式 参加者52人 スタッフ13人
5月13日-14日	第2回 春のキャンプ① 参加者19人 スタッフ8人
6月10日-11日	第2回 春のキャンプ② 参加者20人 スタッフ10人
7月8日	第3回 外あそびの達人になろう 参加者23人 スタッフ9人
8月4日-5日	第4回 夏のキャンプ① 参加者15人 スタッフ14人
8月5日-6日	第4回 夏のキャンプ② 参加者15人 スタッフ14人
9月9日	第5回 ひみつ基地であそぼう 参加者27人 スタッフ7人
11月11日	第6回 秋の外あそび 参加者20人 スタッフ9人
12月16日	第7回 里山のクリスマス会 参加者25人 スタッフ7人
1月20日	第8回 冬の森であそぼう 参加者27人 スタッフ10人

会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：小学校3年生～中学校3年生 延べ243人（↓79人）※前年比

スタッフ数：延べ101人（±0人）

事業収益：2,343,000円（↓375,550円）

（子どもゆめ基金1,000,000円、参加費収入967,450円）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



成果：2010年度から活動をはじめ、14年目となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下、新型コロナ）があり、人数を分散するため宿泊事業は2回に分けて実施した。ファシリテーターやディレクターをいろいろな人に担当してもらうことができた。また、探検隊を卒業した高校生がスタッフとして関わってくれた。

課題：いろいろな人にファシリテーターやディレクターを担当してもらえたことで乗り越えられたが、継続性があるわけではないので運営体制には課題が残る。

1-2 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業

（信州環境カレッジ2019年度～、緑の募金公募事業2023年度～

／2015年度より本格実施事業）

◆通常森カフェ

4月～3月 21回（↓5回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ 141人（↓75人）

◆森カフェイベント：

ウェルネスウォーク

4月12日（水）参加者2名 / 5月15日（月）参加者5名

5月30日（火）参加者2名 / 6月5日（月）参加者3名

6月22日（木）参加者5名 / 11月7日（火）参加者4名

11月17日（金）参加者1名 / 2月3日（土）参加者4名+子ども2名

2月15日（木）中止

5月28日（日）森のコンサート 参加者19名

7月30日（金）木工クラフト体験 参加者9名

8月16日（水）川に入ってみよう！ 参加者15名

9月18日（土）森林ヨーガ体験 参加者2名

ひとり親家庭福祉事業

1月28日（日）ピザを焼いて食べてみよう 参加者4組11名

3月20日（水・祝）親子キャンプ入門講座 参加者2組5名

実施回数：14回（↑7回） 参加者合計 89人（↑41人）

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ

参加費：65,400円（↓27,900円）

◆森カフェイベント

参加費：166,210円（↑68,710円）

助成金：信州環境カレッジ 60,000円

緑の基金 103,625円

ひとり親家庭福祉事業補助金 293,233円



成果：森カフェの本格開催から9年目となった。通常の森カフェは、森カフェコーディネーターの方と手分けし開催できている。土日は、他の事業と重なっても森カフェが開催できる体制となっている。事前予約を継続しておこなっている。参加者がいないときは待機しなくてもよくなり、コーディネーターの負担を減らすことができている。事前予約は今後も継続していきたい。

森カフェイベントは、希望者からの提案によって企画・実施を行っている。他の事業と重なっても実施できる体制ができてきている。

課題：

土日、平日ともに参加者が減ってきている。一度、きちんとPRをして認知してもらえると良い。

平日の参加者開拓は、年度が変わるたびに必要になる。里カフェでPRしたり、子育て支援センターにチラシを置いてもらったりして、声掛けをしていきたい。

森カフェイベントはほぼ予定どおり実施することができた。信州環境カレッジや緑の基金を活用して実施し、内部講師の謝礼が少しでも払えるよう工夫した。十分には払えていないので、参加者をもう少し増やせるよう広報エリアを広げていきたい。

1-3 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

◆わおん♪キャンプの実施/主催事業

(2017年度より継続事業)

4月15日(土)-16日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 15人 スタッフ9人

4月22日(土)-23日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 14人 保護者1人 スタッフ8人

5月20日(土)-21日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 19人 スタッフ8人

6月17日-18日 わおん♪アナログゲームキャンプ
参加者 13人 スタッフ15人

7月22日-23日 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 21人 保護者1人 スタッフ9人

7月30日-31日 わおん♪ひみつ基地探検隊 川編
参加者 14人 スタッフ10人

8月19日-20日 わおん♪ひみつ基地探検隊 川編
参加者 21人 保護者1人 スタッフ8人

8月26日-27日 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 22人 保護者1人 スタッフ9人

9月16日-17日 わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 18人 保護者1人 スタッフ12人

9月23日-24日 わおん♪ひみつ基地探検隊 森編
参加者 14人 保護者2人 スタッフ8人

10月14日-15日 わおん♪アウトドアクッキングキャンプ
参加者 16人 保護者1人 スタッフ7人

3月16日-17日 わおん♪アウトドアクッキングキャンプ
参加者 20人 スタッフ7人

3月30日(土)-31日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ
参加者 19人 スタッフ6人



会場：げんすけの森柏茂交流会館
実施回数：13回（↓2回）
事業収益：参加費 3,845,600円（↑171,200円）
参加者 226名（↑10人）、保護者8人（↓2人）
スタッフ数：延べ116名（↑16人）

成果：継続して、松本市・塩尻市・岡谷市・辰野町と各教育委員会の後援をとり、各市町村の学校にチラシを配布し事業の告知を行った。定員を割るキャンプもあったが、予定通りおこなうことができた。高校生スタッフが手伝ってくれた。ろうきんさんより、ボランティア参加の依頼があり1回スタッフが8名きてもらえた。

課題：学校へのチラシ配布の状況が変わりつつある。塩尻市は、デジタルでの配信に切り替わることになった。他の市町村でも変わっていく可能性がある。デジタルに対応していくとともに、他の方法もさぐりながら、こどもたちに情報が届くよう工夫する必要がある。

スタッフ集めに、年間を通して苦戦した。キャンプの本数を無理のないように調整したい。

1-4 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会

（2011年度より継続事業）

内容：6月4日、9月10日、10月29日、11月26日 こども未来塾リーダー研修の運営

事業費：620,697円（委託）（↓596,513円）

会場：塩嶺体験学習の家

成果：2011年度より継続して事業が実施してきた。業務内容が変更になり、こども未来塾リーダー研修のみの事業となり、委託金が減額になった。

1-5 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター

（2016年度より継続事業）

内容：

12月9日-10日 第8回こどもしおじりの開催

2023年4月～12月 こども役員会議・実行委員会等を開催

参加者：9日 128名、10日 129名（申し込みは159名）

専門家 9日49名 10日40名

当日スタッフ 9日49名 10日34名

コアスタッフ 11名

お仕事 33ブース、アカデミー 12ブース

事業費：1,417,350円（委託）

成果：今年度は定員150名として開催した。インフルエンザが流行っていて、キャンセルが多く出た。過去にこどもしおじりに参加したことがある高校生がスタッフとして参加してくれた。今後もこのようなつながりをつくっていきたい。

課題：高校生の申し込みがあったものの連絡がうまくとれずに苦労した。来年度は、公式LINEで連絡するような体制としたい。また、マンネリ化しないように工夫しながらすすめていきたい。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



えんぱーくで大規模の工事が行われるので、こども会議をどのようにおこなっていくのか検討が必要になる。

1-6 里カフェぽっかぽか/主催事業

(元気づくり支援金2021年度～／2021年度より継続事業)

◆里カフェぽっかぽか

4月～3月 延べ21回 (↑2回)

参加者 延べ156組 349人 (↑44組116人)

◆日程：

4月17日 (月)	参加：3組6人
4月27日 (木)	参加：4組8人
5月10日 (水)	参加：5組12人
5月29日 (月)	参加：8組18人
6月7日 (水)	参加：7組14人
6月29日 (木)	参加：12組27人
7月12日 (水)	参加：4組9人
7月20日 (木)	参加：8組19人
8月21日 (月)	参加：5組11人
8月30日 (水)	参加：8組20人
9月4日 (月)	参加：8組18人
9月21日 (木)	参加：6組12人
10月5日 (木)	参加：7組15人
10月16日 (月)	参加：6組14人
11月15日 (水)	参加：5組11人
11月30日 (木)	参加：6組13人
12月14日 (木)	参加：10組22人
12月22日 (金)	参加：10組24人
1月17日 (水)	参加：9組20人
2月7日 (水)	→雪のため14日に延期 参加：12組27人
3月13日 (水)	参加：13組29人

事業費：参加費：102,150円 (↑17,750円)

助成金：元気づくり支援金、塩尻市社会福祉協議会

成果：4月から12月まで月2回、1月から3月は月1回のペースで通年実施した。リピーターの参加者もいて、延べ156組349人の参加となった。庭で焚き火をしたり、近くの森に散歩に行ったり、水遊びや雪遊びなど、自然に触れる機会をもちながらのんびり過ごせ、良い雰囲気で過ごしていただけている。

課題：継続して参加していた参加者は、年度が変わって保育園に通う子どもも多く、平日の新しい参加者開拓が必要になる。今年度は参加者数が多かったので、来年度も参加できる人が一定数いる可能性がある。

地域の人との交流ができるようにしていけるとよい。来年度は、第3水曜日は固定したので、なにか地域の人との関わりがもてるような機会になるきっかけづくりをしたい。

1-7 わおん♪自然ぶち探検隊/主催事業

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



(子どもゆめ基金助成事業／2022年度より実施)

5歳～小学校2年生までを対象に、ハイジの森で自然体験活動を実施する。

7月9日（日） 生き物をさがそう！

参加者 こども12人保護者6人 スタッフ6人

9月10日（日） 森でアートしよう！

参加者 こども17人保護者6人 スタッフ5人

11月12日（日） 秋の森を探検しよう！

参加者 こども17人保護者6人 スタッフ5人

1月21日（日） 冬の森で遊ぼう！

参加者 こども12人保護者3人 スタッフ8人

会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：5歳～小学校2年生 延べ58人（↓13人）、保護者 延べ21人（↓1人）

スタッフ数：延べ24人（↑3人）

事業収益：374,350円（↓6,740円）

子どもゆめ基金288,000円（±0円）、参加費収入86,350円（↓70円）

成果：2年目の活動で、継続して参加者が集まり実施することができた。今年度参加した人が、来年度の探検隊に申し込んだ人も何人かおり、探検隊への参加につなげることができた。

駐車場の課題も含め、前半は柏茂交流会館で実施し、後半にハイジの森の活動とした。スペースの課題もクリアだったので、この形態で実施していきたい。

課題：半日程度の活動で、スタッフ確保に少し苦労した。近場のスタッフを事前に確保したい。

1-8 出前イベント／受託

日程：

6月8日 松本学童保育指導員会

7月5日 波田小学校 内容：自然体感プログラム

7月20日 並柳小学校 内容：自然体感プログラム（川の生き物）

7月25日 松本市エコスクール

9月7日 片丘保育園 職員研修

9月19日 宗賀児童館

6月24日 第1回ジュニアリーダー養成講座

8月11日-12日 第2回ジュニアリーダー養成講座

10月5日 日義小学校 内容：外あそびの達人講座

10月21日 広丘小学校奨善塾

11月5日 郷福寺 お寺マルシェ 内容：昔あそび

11月26日 ジュニアリーダー養成講座 →体調不良のため欠席

1月26日 日義小学校 内容：昔あそび

4月12日、26日、5月17日、31日、6月14日、28日、7月5日、19日、26日

8月10日、23日、9月13日、26日、10月11日、18日、11月8日、29日、

12月13日、27日、1月10日、2月14日、3月27日（22回 ↓1回）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



沢村児童センター 内容：昔あそび、運動遊び、外あそびの達人講座

事業収益：受託金額 389,258円 (↓45,574円) ※3月27日分入れてある

成果：沢村児童センターからは、継続して年間を通じて依頼をいただいている。

宗賀児童館から年間を通じて数回依頼をいただいていたが、館の方針が変わり
今年度は1回となった。ジュニアリーダー養成講座は、継続して依頼をいた
しております、今年度は日帰り1回、宿泊1回の活動となった。

松本市内の学校からの依頼は2件、木祖村からの依頼が2件あった。

課題：沢村児童センターは、松本市からついている予算を活用している。来年度は予
算が半額になるので、回数が半分になる。宗賀児童館からの依頼はなくなると
思われる。ジュニアリーダー養成講座は、来年度、予算が確保できず開催しな
い。

出前イベントは、依頼元の状況や方針によって依頼数が変わってくる。依頼があ
れば対応していくしかない。

2：体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り/主催事業

(市民交流センターを活用した交流企画事業/2010年度より継続事業)

実施せず

成果：わおんの15周年記念イベントを行う予定で計画したが、参加者が集まらず中止
となった。

課題：柏茂交流会館で開催する場合、駐車場の収容数に限りがあり、広く広報しづら
いことが課題である。

2-2 各種交流会 (げんすけBar、lunch、お茶会)

3月12日 こどもの体験活動に関わる大人のための交流会を実施 (元気づくり支援
金)

参加者 第1部・第2部 参加者4名 (+ゲスト2名)

成果：体験活動のサポーター不足を解消するためにも、わおんの活動に関心のある人
が集まる機会を作ることが大事と考え、交流会を実施することができた。平日
開催としてみた。参加者は少なかったが、平日に動ける人で交流が深められた
のはよかったです。実際にキャンプのスタッフとして関わってもらうことができ
た。

課題：参加者数が少なかったのは残念だった。

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日/コラボ企画・ブース出展

日程：

9月30日 森のフェスティバル 収益：22,900円

9月3日 ひらいで遺跡まつり →不参加

8月11日・12日 木育フェスティバル →不参加

11月18日 しおじりまちづくりフェスティバル 収益：7,500円

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



ブースでの実施内容

クラフト（バードコールづくり、小鳥のキーホルダー、万華鏡づくり 500円）
たき火関係（スマア100円）
クラフトグッズ、げんすけグッズの販売

事業収益（合計）：30,400円（↑24,900円）

内容：受託 0件（→）、自主的に参加 2件（↑1件）

成果：イベントが復活してきた。イベントに2つ参加できた。

課題：日程があわなかったものには参加できなかった。げんすけの出演依頼がゼロだった。

2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

日程：

10月9日 国営アルプスあづみの公園 雨天のため中止
3月2日 国営アルプスあづみの公園
7月16日、11月3日 長野市 委託事業として
※森カフェコーディネーター養成講座もおこなった

成果：継続して、国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを実施した。1回は雨で中止となった。長野市から委託事業として森カフェと森カフェコーディネーター養成講座を開催した。出張森カフェの依頼があれば対応していく。

課題：新しいところからの依頼の開拓がなかなかできない

2-5 里山子育て・子育ちセミナー・フォーラムの開催/主催事業

開催なし

2-6 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

6月20日 オンライン交流会「Canvaを使って活動を広報しよう！」
担当：山田勇

7月26日 オンラインサロン 参加
9月26日 本部会議@オンライン
9月5日～6日 夏のおつかれさま会@柏茂交流会館
5月15日 本部会議@オンライン
7月4日 本部会議@オンライン
8月15日 本部会議@オンライン
12月6日 本部会議@オンライン
1月31日 本部会議@オンライン
2月1日、8日、17日～18日 NEAL養成講座で講師 担当：山田勇
2月18日 新年会
2月19日 外あそびネットワークの総会に参加
※信州外あそびネットワークの副代表を担当
※信州外あそびネットワーク事務局として会計を担当
※信州外あそびネットワークの住所をわおん内に置いている

◆木育フェスティバル実行委員会

9月30日 森のフェスティバルに参加

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



※木育フェスティバルは不参加。

※実行委員会に参加

◆地域づくりネットワーク

やまびこネットワークに加入

松本支部の支部長を担当

地域活性化センター賛助会員

◆松本地域子ども応援プラットフォーム

4月5日 打ち合わせ

5月25日 総会

6月28日 子どもの居場所づくり推進にむけた担当者会議 次第

7月31日 第2回 運営委員会

8月13日 オンライン交流会

8月25日 塩尻 打ち合わせ

10月18日 第3回 運営委員会

11月9日 活動紹介×交流 「ネットワークで信州の子どもの未来を創る！」

11月22日 居場所づくりツアー

11月24日 オンライン交流会

2月15日 第4回 運営委員会

2月28日 子どもの居場所のための助成金セミナー

3月13日 運営委員会

※松本地域子ども応援プラットフォーム 代表を担当

塩尻地域の活動

10月22日 交流で広がる！ 子ども応援の輪 in塩尻

◆中信地区環境教育ネットワーク (eenet)

12月21日 ホームページ打ち合わせ

1月12日 コロンビア協賛金打ち合わせ

1月18日 事務局会議

1月29日 コロンビア協賛金打ち合わせ

2月5日 コロンビア協賛金打ち合わせ

2月22日 事務局会議

2月28日 松本市環境教育報告会

3月1日 茶話会

※HP更新担当

◆NPO法人自然体験活動推進協議会 (CONE)

会員登録

2月15日 CONE保険加入者ミーティング

◆信州こども自主活動応援基金 (げんすけファンド)

1月18日 打ち合わせ

2-7 体験拠点の管理 (2020年7月～所有)

(2021年度～ 元気づくり支援金)

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆げんすけの森柏茂交流会館

●修繕関係

9月-10月 屋根の修繕
3月 浴室ドアの取り換え

宿泊旅行統計調査に協力 (2022年1月から2年間)
げんすけの森 柏茂交流会館のホームページの維持
<https://sites.google.com/npowaon.com/hakumo>
予約カレンダーの更新
げんすけの森 柏茂交流会館のパンフレットの配布
防火管理者の変更 (荻場美穂子→山田勇)

●施設貸出

5月2日-5日	信州大学シミュレーションゲーム宿泊利用19名
5月26日-27日	個人宿泊利用2名
7月11日	洗馬子育てサロン 日帰り利用
7月15日-17日	個人宿泊利用22名
7月31日-8月1日	個人日帰り利用2名、宿泊利用2名
8月11日-12日	ジュニアリーダー養成講座宿泊利用23名
9月2日-3日	アルマーレサッカークラブ宿泊利用24名
9月5日	信州外あそびネットワーク
9月25日-29日	あおぞら園宿泊利用24名
9月30日-10月1日	わらべっこ子供会 18名
10月22日	松本応援プラットフォーム 日帰り利用
1月27日	森んく 日帰り利用

●備品貸出

施設利用時に備品の貸し出し 実績1回
わおんの主催事業の際に寝袋レンタルをおこなった

事業収益：687,570円（施設貸出）（↑584,580円）利用件数：12件（↑4件）

74,800円（備品貸出）（↓1,100円）

成果：元気づくり支援金が採択され、屋根の修繕、浴室ドアの取り換えを実行することができた。施設利用は12件あった。前年より4件増えた。わおんの主催事業の際に寝袋レンタルを実施できた。

課題：元気づくり支援金は3年で終わりとなった。専門家に確認してもらったところ、緊急の修繕箇所はなかった。網戸や水道まわりなど劣化はしてきているので、今後の方針としてどこかのタイミングで予算を確保し更新したい。お風呂のボイラーの減圧機が故障した。修理費8万円ほど。

貸し出しについては、平日の利用を増やしていきたい。利用形態がいろいろあり料金の見直しをすると、利用しやすくなると思われる。

3：体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業（2015年度より実施）

7月17日 長野市 委託事業として

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



3-2 サポーター向け勉強会

未実施

3-3 体験活動に関心のある人を対象にした勉強会

未実施

4：地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

2023年4月～2024年3月 登録 594人（↑84人）

月1回発行、お知らせがあるときは臨時号を発行

4-2 活動の動画配信

未実施

4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

5：地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ/FR

げんすけのポロシャツやTシャツの追加注文をした

希望者にサイズ、カラーのオーダーを受けてから発注

◆ 塩尻市内の店舗での販売

モナミ美容室、温（ぬくく）、木曽地場産センター

収益：地場産センター 13,560円（↑5,705円）

◆ イベントでの販売

収益：0円（↓5,300円）

事業収益：21,660円（↓1,090円）

5-2 こどもたちの元気の源「ブランド」づくり/FR

未実施

6：地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント（ワークショップ）

依頼がなかったため、未実施

6-2 こども企画会議

未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



— NPO法人の運営 —

1：理事、事務局の対外的な活動

・講師

7月30日 林業センター 虫の観察講師（理事長 山田勇）

・委員会・会議出席

塩尻市社会教育委員（理事長 山田勇）

EP0中部協働コーディネーター（理事長 山田勇）

塩尻市環境審議委員（理事長 山田勇）

塩尻市社会福祉協議会評議員（理事 萩場美穂子）

・その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

一般社団法人 日本NPO環境ネットワーク 事務局



2：法人内の活動

・会議

◆総会 4月18日 通常総会 @オンライン

◆理事会 4月9日 理事会 @柏茂交流会館

・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

・会員募集

イベント受付の際などPRしたり、積極的にお説明するようにした

・管理（顧客・備品）

会員管理をセールスフォースで実施中。

イベント参加者、サポーター情報を管理できるようにツールを検討中。

・会計、税務

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

PAYPAYの決済を導入した（2019年8月～）

・労務事務（法人事務）

社会保険への加入（2015年12月～）

・その他事務

書類データ：Google ドライブ 写真データ：box

遠隔会議：google meet/zoom 、日々の情報共有：google chat →実施

顧客情報等：セールスフォース 、タスク管理：Evernote →実施

